

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談
2. 日時：令和5年7月28日（金）13時20分～14時00分
3. 場所：福島第一原子力発電所 新事務本館 検査室3
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

安井企画調査官、岩永室長、安部室長補佐、岩野調整係長

原子力安全人材育成センター

原子炉技術研修課

上ノ内教官

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一原子力発電所 廃炉安全・品質室 検査担当

運用支援グループ グループマネージャー

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、令和5年7月19日に行った面談において確認した、2号機原子炉キャビティ差圧調整ダクト弁の開閉状態に関する記録の所在については、引き続き確認を行っている旨の説明があった。また、当該弁の機能や構造等について、資料に基づき説明があった。
- これに対して、原子力規制庁から、当該記録の所在の確認にどの程度の期間を要するのか明らかにするよう求めた。
- 東京電力から、確認でき次第、回答する旨の返答があった。

6. 資料

- 2号機原子炉キャビティ差圧調整ラインのダクト弁の構造図等

以上